

官民協働ネットワーク

Crossover Vol.4

2005年4月23日(土)





Executive Summary



目的1:「政策市場」のイメージの把握

目的2:ディスカッションに向けた問題提起

.問題意識

官僚は何故「抵抗」してしまうのか?

.改革の方向性

"政策社会主義"から"政策市場主義"へ

.政策市場のイメージ

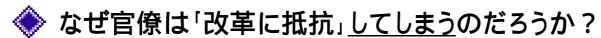
公共政策立案に係る"人財"と"アイディア"の流通市場

.問題提起

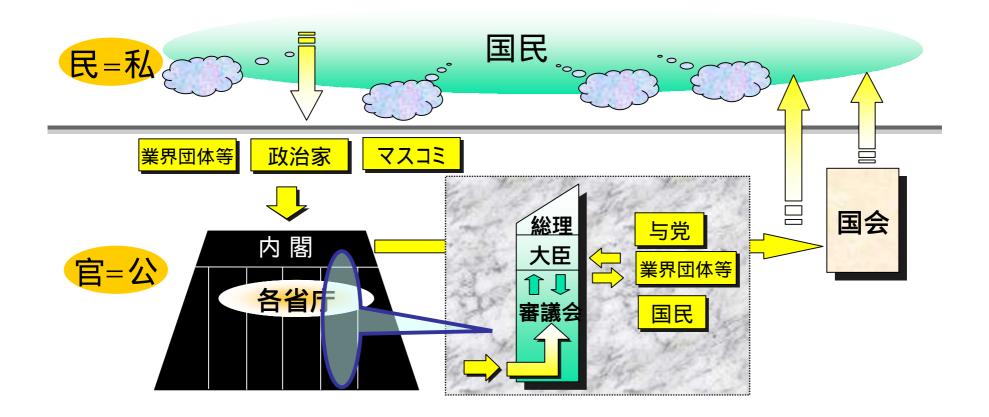
ムーヴメントにつながるディスカッションに向けて



. 問題意識



"霞が関"に"官僚を現状維持に駆り立てる装置"が組み込まれているのではないか。





. 改革の方向性

今後:「政策市場主義」

情報の共有

多様な人財·アイディアの競争が 織り成す政策形成プロセス

社会のニーズに対応した政策の「効用」の重視へ

多様な生産者とチャネル

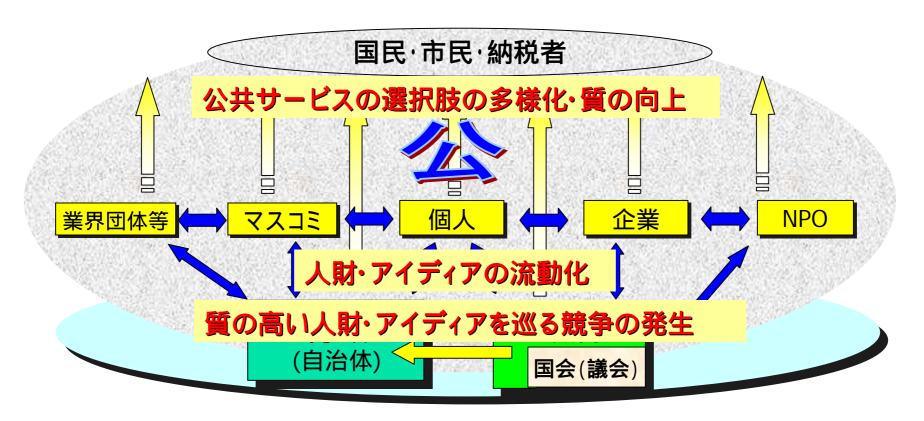
外部環境の急速な変化

少子化・高齢化・グローバル化・技術革新の急速な進展 国・地方の膨大な財政赤字

一人一人の「生き方」「家族観」「職業観」の多様化



. 「政策市場」のイメージ



「政策市場」

=公共政策に係るアイディアと人財の流通市場



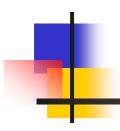
. 問題提起

- ◇「政策市場」の成立・活性化の鍵は何か?
- ◆ ムーブメントは既に始まっているのではないか?
- ◆ 私達一人一人が「政策市場のプレーヤー」として何が出来るか?
 どうありたいか?

例えば、自分は・・・

「何故出来ないか」を考えるのではなく、「どうしたら出来るか」を追求する存在として "公"に係る問題の解決に向けて、多様な人財との協働・切磋琢磨をした!!!
「制度のための社会」ではなく「社会のための制度」を創る存在として 社会をよく知りた!! 社会によく知らせた!!!

"政策社会主義"に固執しない。 政策市場のプレーヤーの一人として・・・・



To be continued to our discussion...

官民協働ネットワーク

Crossover Vol.4